

Case

17

## 新型刷版（CTP）出力機導入により 作業効率を大幅改善

ものづくり補助金を活用し、最新の刷版出力機（CTP=Computer To Plate）を導入。旧機に比べ、出力時間を最大50パーセント削減にすることに成功した。その効果は、後工程である印刷部門にも好影響を与える結果となった。



▲導入した最新の刷版出力機

### 事業計画の概要

新型のサーマルプレートレコーダーを導入。刷版製作時間の大幅短縮実現に取組んだ。同時にDTPの処理能力およびフルカラーオフセット印刷機の生産能力の増強も行った。

### 補助事業のきっかけ

以前のオフセット印刷用刷版出力機（サーマルプレートレコーダー）では、フルカラーに必要な4版を出力するのに、半版あたり10分、合計約40分かかっていた。この工程に係る時間が、ボトルネックとなり後工程である印刷作業に待機時間ができたり、急な大量の注文に対応できず、失注することに繋がっていた。

### 事業化状況

作業効率が大幅に改善され、刷版出力に要する時間を最大で50%削減させることに成功。印刷に係る全体の作業効率が改善された。残業時間低減と従業員の負担軽減にもつながった。



▲代表取締役の望月幹仁氏



▲従業員のみなさん(下) 様々な印刷物に対応(上)

## 作業効率向上で 残業時間も大幅短縮に

この課題解決のために取組んだことのひとつに、CTPの出力能力の増強があります。補助金では、新型のサーマルプレートレコーダーを導入しました。この設備は、印刷に使用する刷版にデジタルデータをレーザーで直接出力することのできる設備です。当社では、この設備の旧機を使用していましたが、今回の導入により、出力時間を従来比で最大50パーセント短縮することに成功しました。現在は、設備への負担も考慮し多少スピードを落として使用することが多いですが、それでも、例えば今まで8時間ほどかかっていた刷版の出力時間を5時間程度に抑えることができました。補助事業で同時に行った印刷機の生産能力増強、DTP処理能力増強との相乗効果もあり、多頁特急印刷の対応も可能な体制となりました。また、作業時間の効率化が図られたことで、残業時間や土曜日の出勤も減りました。今後もお客様のためのことが、当社のため、従業員のためとなる取組みを進めたいと思います。

## 課題であった多頁 特急印刷注文への迅速対応

当社は、お客様第一を心掛け、大規模印刷会社では対応しないようなご要望にも応える営業活動にこだわっています。おかげさまで、川崎市内外の様々なお客様からご注文をいただいています。なかでも、定期的に発行される機関紙などは、印刷作業も予定を組み、ある程度の余裕をもって対応できますが、例えば時事的な発刊物の大手企業労働組合の団体交渉の結果に関する印刷物やプロスポーツチームの試合結果、選手の新規紹介をするガイドブックなどは、ぎりぎりまでデータが揃わず、お客様から特急でのご依頼となることが多いです。このようなご要望に応えるべく、深夜稼働を前提に受注していますが、ページ数が多い場合には外注をしたり、場合によっては、ご依頼を断らざるを得ないこともありました。このような悩みを抱えていたところ、神奈川県印刷工業組合からものづくり補助金を紹介され、設備更新時期も相まって補助事業に取組むことにしました。

事業テーマ：大ロット多頁印刷物の特急注文に迅速対応する革新的サービス事業

事業者名：株式会社大和

事業年度：26年度

### 企業概要



1965年創業の制作企画から印刷まで行う総合印刷会社。川崎市の工業地帯に立地し、急な要望にも24時間稼働で対応可能。大手印刷会社には難しい迅速な対応を心掛け、小回りの利くサービスを提供できるのが強み。川崎市内の企業や大手企業など、機関紙をはじめとする様々な印刷物に対応する。社長の望月幹仁氏は、元ゴルフ場キャディーマスターという一風変わった経歴の持ち主。神奈川県印刷工業組合・川崎支部長でもある。今でも週に一度はコースでゴルフを楽しむ。日焼けした朗らかな性格の社長は、顧客だけではなく従業員にも気遣いを怠らない、と従業員は言う。「真心・信頼・迅速」が当社のモットー。

|      |                            |
|------|----------------------------|
| 会社名  | 株式会社 大和                    |
| 代表者名 | 代表取締役 望月 幹仁                |
| 設立年  | 1965年                      |
| 所在地  | 〒210-0858<br>川崎市川崎区大川町11-6 |
| 従業員数 | 18名                        |
| 資本金  | 1,000万円                    |
| TEL  | 044-322-7500               |
| FAX  | 044-322-7654               |
| URL  | http://www.daiwano1.co.jp/ |

### 調査員考察

当社は失注の問題が顕在化されており設備投資が火急の課題であった。老朽化する設備の更新時期に合わせ、ものづくり補助金を活用した企業は多いが、生産能力増強、品質、納期面で速効性のある効果を出した好例である。組織面では残業、週末作業が削減でき働き方改革につながる波及効果を生み出した点も注目したい。